

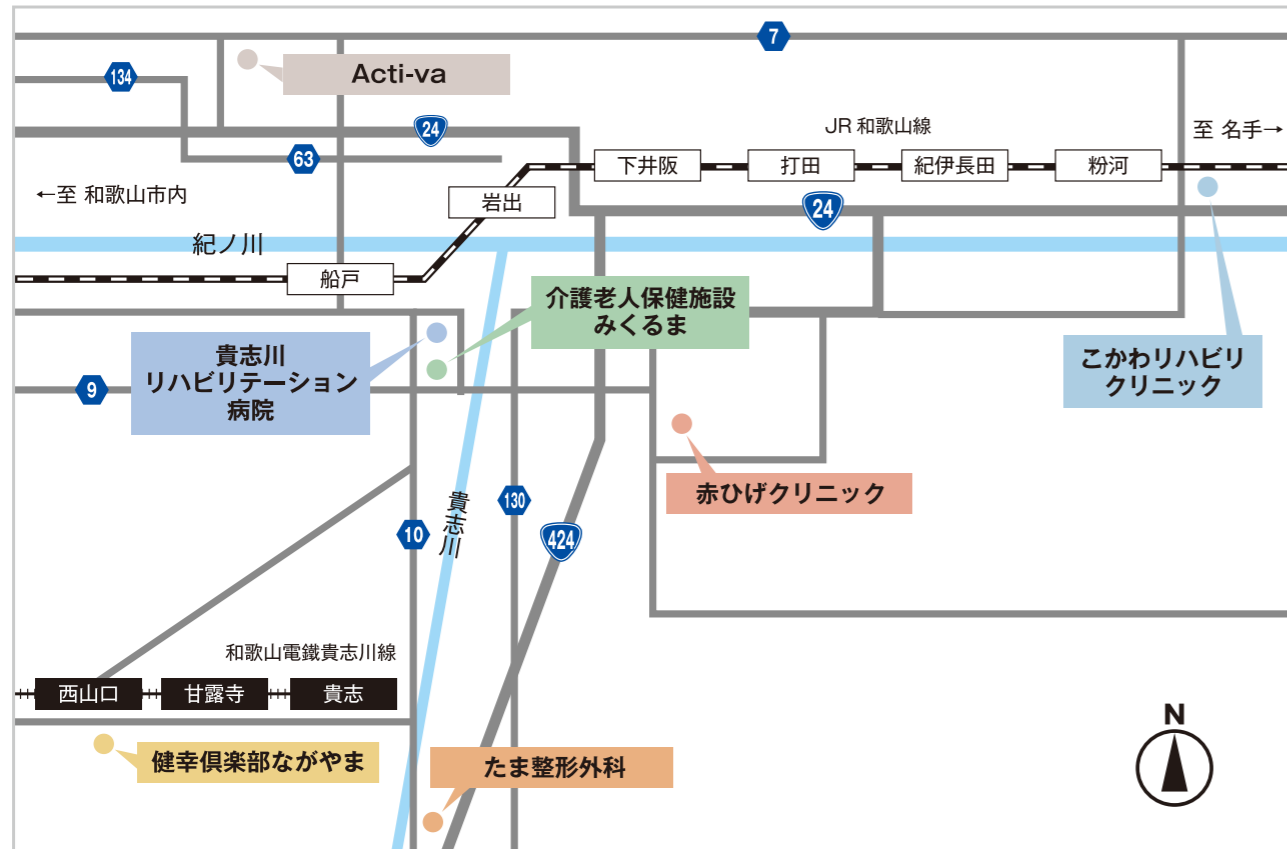
みくるま通信

Social medical corporation mikurumakai

2024 winter

36

TAKE FREE



〒640-0401
和歌山県紀の川市貴志川町丸栖 1423-3
TEL:0736-64-0061

● 診療受付時間

【午前】8:30 ~ 11:30
【午後】15:00 ~ 17:00 (火・木・土曜除く)
【休診日】日曜日・祝祭日

● 病院長

西村 和彦

● 診療科目

整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科・外科
内科・総合診療科・麻酔科・放射線科・救急科・循環器内科

● 病床数 計 168床

- ・一般病棟 (60床 内、地域包括ケア病床 30床)
- ・回復期リハビリテーション病棟 (108床)

関連施設

- ・在宅総合ケアセンター 赤ひげクリニック
〒649-6123 紀の川市桃山町神田 378
TEL: 0736-66-9003
- ・たま整形外科
〒640-0424 紀の川市貴志川町井ノ口 974-4
TEL: 0736-65-2700
- ・こかわりハビリクリニック
〒649-6531 紀の川市粉河 451-9
TEL: 0736-67-7818
- ・介護老人保健施設 みくるま
〒640-0401 紀の川市貴志川町丸栖 936-3
TEL: 0736-64-2800
- ・Acti-va
〒649-6202 岩出市根来 823-1
TEL: 0736-69-0051
- ・健幸倶楽部 ながやま
〒640-0416 紀の川市貴志川町長山 583-1
TEL: 0736-86-0000

Homepage



Instagram



<http://www.mikurumakai.or.jp/>

Shooting location: 和歌山県日高郡みなべ町

Photo title: 冬の日の出

CONTENTS

- ・新年の挨拶
- ・国境を越えて
- ・「そくまる」とは?
- ・関連施設からのお知らせ

天高く昇る龍のごとく



社会医療法人 三車会
理事長 殿尾 守弘 (とのお もりひろ)

明けましておめでとうございます。
本年は私の干支年であります。「龍吟すれば雲起こる」の心意気で皆さま方のお役に立てるように奮励努力する覚悟です。
少子・超高齢社会の今日において保険料の負担増、医療介護分野の人出不足などとともに医療介護保険システムは崩壊の危機にあります。「龍のヒゲを撫でる」果敢さを持って医療、介護の効率化、そして連携強化が急務です。いまからこそ、医療介護に携わる者が「竜虎相うつ」ことなく、「竜吟じ虎うそぶく」のごとく、一致団結して限られた医療介護資源を最も有効しなければならぬときにあります。「雲は龍に従い、風は虎に従う」状況を願って、未来志向の法人運営を行ってまいります。
当法人は昨年10月を持ちまして法人設立から25年を迎えることができました。この地域で医療介護事業を円滑に行ってこられたのは温かい皆さま方の御指導、支えがあつてのことと心より感謝しております。初志を忘れず、「竜頭蛇尾」に終わらないように職員一同とともに頑張ります。なお一層の御指導をお願い申し上げます。

新たな飛躍の年に！



貴志川リハビリテーション病院
病院長 西村 和彦 (にしむら かずひこ)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、約4年続いた行動制限も解除されました。しかし、今後も人混みでのマスク着用や手指消毒は継続したいものです。一方世界では、各地で紛争が起こり、多くの犠牲者が出ています。また、我が国では新年1月1日に能登半島地震、同2日には日航機、海保機接触炎上事故が発生し、厳しい幕開けとなりました。ともに早く終結し、皆が協力して乗り越えることを切望します。さて、今年の干支「甲辰」には「龍のごとく猛々しく邁進していく」といった縁起の良い力強さを表しています。当法人は、地域の皆様方のご支援で、法人設立から26年目に入りました。心より感謝申し上げます。今後も医療・介護の面で基礎をしっかりと固め、地域医療に貢献すべく職員が一丸となって龍のごとく邁進していく所存です。より一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。新年にあたり、住民の皆様が健康に過ごせますよう祈念致します。



国境を越えて 日本の病院で働く



マカヒリグ ジョニー エンリケズさん

出身国：フィリピン マニラ
気づかいができて、笑顔が素敵な男性です。

Q. 日本にきて何年ですか？日本に来たきっかけは？

A. 日本に来て5年になります。小さい頃から日本のアニメや映画が大好きでした。また、ニュースや新聞で日本の文化をよく目にし、温かくて安心な国だと思いました。そんな日本のライフスタイルに憧れて日本で生活してみたいと思うようになりました。

Q. 介護福祉士になった理由は？

A. 日本で日本語の勉強をしながら介護老人保健施設で働いて介護の経験を積みました。高齢者のお世話をしながら介護はやりがいのある仕事だと思いました。また、日本は超高齢化社会でありながら医療福祉の従事者不足が問題視されていることもあり、介護福祉士への関心が高まりました。日本語学校を卒業してから介護福祉士の資格を取得するため一生懸命学びました。

Q. 介護福祉士になって良かったこと、または困ったことは？

A. 利用者や患者、家族にとって安全で安心できるケアを心掛け、「ありがとう」と言ってもらったときがとても幸せで、介護福祉士になってよかったと思いました。

私は外国人なので、患者さんの言葉が理解できなかったり、自分の言いたいことをうまく伝えられないことがあり、コミュニケーションで困ることがあります。



シーツ交換もきっちりテキパキ

Q. 日本に来てからの思い出は？

A. 和歌山城に花見に行ったとき、桜の木の下でお酒を飲んだり、ご飯を食べたりするのを見て驚きました。日本の文化は不思議に思うことがたくさんあります。またいつか北海道に行って雪景色を見てみたいです。



食事の配膳を行う様子

Q. 今後目指すもの、やりたいことは？

A. 日本語をもっと勉強して、スムーズな会話ができるようになりたいです。

貴志リハ×デュプロ精工が開発



下肢荷重計 そくまる



「そくまる」とは？

「靴のままかんたんに履ける荷重測定器」です。従来は歩行のリハビリにおいて《体重計》を使って、患者様の荷重量が適正かどうか判断していましたが、目盛りがブレたり、動作ごとに持ち運ぶ必要がありました。

2022年にデュプロ精工と貴志川リハビリテーションが共同で開発した「そくまる」は、自然な一歩を正確な数値で測定でき、アプリに記録が残せるので、荷重訓練（リハビリ）において画期的な商品になりました。

今回、デュプロ精工と「そくまる」開発したリハビリ部の田津原科長に「そくまる」の開発の話と今後の開発事業について伺いました。

貴志リハ×デュプロ精工 開発までの話

デュプロ精工株式会社との出会いは2020年2月。

和歌山県が主催する「わかやまヘルスケア産業革新プラットフォーム」に、当院から理学療法士・作業療法士が参加し、“リハビリ領域での困りごと”をプレゼンしておりました。一方、デュ

プロ精工は“ヘルスケア領域での商品開発の可能性”を探りに来ていました。同セミナーには和歌山県内にある数多くの企業が参加しておりましたが、デュプロ精工はその中で最も気持ちが熱く、活発で、何ごとにも食欲でした。(笑) そんなデュプロ精工の熱意に惹かれ、共に“リハビリ領域での困りごと”にチャレンジすることになりました。

いくつか試作を重ねた結果、靴型の荷重測定計に可能性を感じ、様々な創意工夫や試行錯誤を加えながら約2年を経て「下肢荷重計そくまる」が誕生。2022年の11月に発売することができました。



そくまるのこと（パンフレットより抜粋）

そくまるの特徴



そくまるはリアルタイムで荷重の状況を確認でき、適切な荷重かどうかをブザーでお知らせ！靴のまま履けるので脱ぐ手間もかかりません。

そくまるについてはコチラ▶



体重計を使った従来のリハビリとの比較



体重計の場合

- ・動作に合わせて持ち運びが必要
- ・目盛りがブレて、読みにくい
- ・視線が下がり、前のめりの姿勢に
- ・記録ができない



そくまるの場合

- ・自然な一歩をリアルに測定
- ・手元の端末で荷重量をモニター表示
- ・正しい姿勢でリハビリできる
- ・患者様ごとに結果の確認と記録が可能
- ・履歴が分かるのでモチベーションアップに

開発事業のこれからのこと



月に一度、そくまるの使用状況や、患者様の声を確認、新しい商品の開発や、困りごとの調査を行う。

「そくまる」販売後もデュプロ精工との開発事業を継続しており、毎月打ち合わせを行い、現在も新商品に向けて試作を重ねているところです。

デュプロ精工はオフィス、こちらは病院、活躍する業界は違えど、同じ紀の川市で仕事をされる者として地域住民に貢献するという想いは同じです。少しでも、患者様や利用者様、医療従事者の役に立てるような製品を考えていきたいと思えます。

デュプロ精工株式会社



紀の川市上田井にある事務用省力化機器の企画から開発、製造まで行う企業。販売は DUPLODEC 株式会社ヘルスケア事業部 (itokichi) で行っています。

今回話を聞いた人 /



貴志川リハビリテーション病院
リハビリテーション部 科長
理学療法士 田津原 佑介

三車会の関連施設のお知らせ

赤ひげクリニック



赤ひげクリニックならではの 日帰り旅行！

年に一度、利用者様と日帰り旅行を実施。スタッフも同行するので身体状態に不安があっても安心して参加できると大好評！今年49名の方に参加いただき、賑やかに南紀白浜に行ってきました。



理事長も参加



介護老人保健施設 みくるま



園児 × 利用者様

育てた野菜が世代を超える

地元の保育園児と施設の裏の畑で、「サツマイモ掘り」を行いました。利用者様が育てた野菜を園児たちが収穫し、元気いっぱいの園児たちに利用者もスタッフも癒されるイベントとなりました。これからも、高齢者と子供たちの交流を大切にしていきたいです。

阪神タイガースを 応援しています！

たま整形外科は、利用者様と共に阪神タイガースを応援しています。2023年は38年ぶりに日本一に輝きました！阪神ファンだけでなく、野球好きの方、そうでない方も一緒に運動しながら野球話に花咲かせましょう！

たま整形外科



トレーニングもしっかりします！

パンでつながる地域の絆

社会参加&支援のため就労継続支援B型事業所のナチュラルベーカリー『haru』さんに移動販売に来てもらっています。利用者様が家族にパンを買う姿に気持ちも「ふわふわ」胃袋も「パンパン」になります♪これからも地域との繋がりを大切に心も、体も元気になる施設を目指します。



Acti-va

こかわりハビリクリニック



介護保険適用の デイケア・訪問リハビリ！

医療保険だけでなく、介護保険で受けられる「通所&訪問リハビリ」を提供しています。介護保険証をお持ちで認定を受けていれば利用できる可能性があります。そうでない方も、日常生活での動作などで困り事があれば、スタッフまで相談ください！

健幸倶楽部ながやま

名曲に合わせて踊る！

健康長寿のダンスプログラムをはじめました。「美空ひばり」など懐かしの名曲に合わせて楽しく体を動かすだけで、重要な筋力・スタミナ・柔軟性が改善されます！運動の効果はウォーキング以上、認知機能改善にも好影響とされています。みなさん、笑顔で運動と脳トレしています！

美空ひばりや、アップテンポのTRFも踊ります！

